



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第186号

2007年9月9日

みなさん、こんにちは。9月になっても暑い日が続きますね。

● 企画展「兵庫のやきものとその周辺」展が始まりました

9月8日(土)から企画展「兵庫のやきものとその周辺 ~ 古陶磁から現代陶芸まで ~」展が始まりました。社団法人日本陶磁協会明石支部の会員のコレクションから古今の名品や珍品を体系的に構成し、それぞれの特徴を比較できるようになっています。あわせて現代作家の新作もご覧いただけます。期間中に琴の演奏会やお茶席を設ける日もありますので、どうぞご参加ください。9月30日(日)まで開催します。



シックな入口です

● 現代陶芸ってどんなもの？

現在開催中の企画展「兵庫のやきものとその周辺」展には、印象的な現代陶芸が多数出品されています。今日はその中から市野雅彦氏の《彩泥器》をピックアップします。チラシのおもて面にも用いられ、気になっておいでの方も多いのではないのでしょうか。変わった形をしています。これは何でしょう。答えは花入れです。上部の飛び出した部分を取り外して花を生けます。しかし花を生けなくても見応えのあるこの形。是非前から、横からぐるりと回ってご覧ください。立ち位置によって、白とオレンジの色の面積が増えたり減ったりします。まるで月の満ち欠けのようにも見えてきませんか。



三日月



上弦の月



十三夜くらい？



満月になりました

9月2日(日)まで開催されました企画展「祝・百寿 渡辺うめ人形展」ではたくさんの方にお越しいただき、過去最多の企画展観覧者数となりました。ありがとうございました。今後もみなさまに喜んでいただけるような展覧会やイベントを続々企画していきますので、どうぞお楽しみに！